

# 恩納村 恩納村農山漁村生活研究会

生産  
部門

地産地消促進・食文化継承・生きがい探しのふるさとづくり  
(平成30年度認定)



恩納村農山漁村生活研究会は、地域農産物の活用や郷土の味づくりの技を広めるべく、村内在住の料理好きの女性が集って平成7年に発足された。

当研究会では、パッションフルーツや、モズク、アーサ等の地元特産品を使用した加工品の開発や、地元安富祖米を使用した無添加味噌づくり、村独自の郷土料理研究など様々な活動を行っている。これらの活動で生産した商品は、道の駅や地域の祭り等で観光客や地元客に販売しており、販売時には原材料の生産地や季節にあった調理法、体に良い栄養成分の紹介等を楽しく宣伝する等、地産地消促進に寄与している。

その他にも会員が村内の学校に出向いて家庭科実習を行ったり、学校イベントで地元食材を使用したお菓子作りの指導を行うなど、子供達への食育にも協力しており、地産地消の大切さを伝えるだけでなく、昔ながらの食文化を次世代へと継承し、さらに高齢の会員と子供達との交流の場を設けることで、高齢者の生きがいづくりにも繋がっている。

また、年に一度県内の農水産物加工場等への体験視察を行い、会員同士の意見交換や研究の場を設けるなど、会員一人一人のスキルアップを目指した活動にも力を入れている。

このような、生産活動による地域活性化を通した「ふるさとづくり」に取り組んでいることから、「沖縄、ふるさと百選」生産部門に認定された。



活動風景



祭り出店状況



安富祖米を使ったみそづくり



家庭科実習



体験視察



会員集合写真